

第4回 建設・測量 生産性向上展(CSPI-EXPO) アクティオ ブースを出展 ～次世代を担う、最先端技術が一堂に～

アクティオブース 展示ホール 3(B-10)/屋外展示場(OD-20)

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下アクティオ)は、2022年5月25日(水)～27日(金)の3日間、幕張メッセで開催される、建設業界、測量業界の展示会「第4回 建設・測量 生産性向上展(CSPI-EXPO)」に出展いたします。



現在、建設業界は人手不足や働き方が大きな課題になっており、建設 DX に代表されるような生産性向上に関する開発や実用化が急務となっています。また、国土交通省は、喫緊の課題解決のために、測量から施工、維持管理まで全ての建設生産プロセスで ICT 等を活用した建設現場の生産性向上を目指す「i-Construction」(アイ・コンストラクション)を推進しており、建設現場では一層の ICT 化が求められるようになってきています。

今回、このような課題を解決するために、アクティオグループは用意周到な製品・技術力・レンタルを深化させ、また、建設 DX の具体化を実現させるブース展開をしていきます。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 広報部 担当:成澤、深沢

TEL:03-6262-7867 e-mail:koho@aktio.co.jp

展示一例

■オフグリッドハウス

「オフグリッドハウス」は、太陽光パネルと蓄電システムを搭載したユニットハウスです。太陽光の自然エネルギーを利用し、室内の照明やエアコン、電源などを独立稼働させることが可能です。また、ハウスがパネル方式のため、入口・窓の位置のレイアウトや連棟仕様によるスペースの拡張など、お客様の要望に合わせて自由に設計することができます。太陽光パネル使用で燃料不要のため、建設現場はもちろん、これまで設置が困難だった僻地やすぐに復旧が難しい災害地域など、電源を必要とする場所での使用が可能です。また、夏場の熱中症対策としての室内使用や、コロナ禍でのソーシャルディスタンスのスペース確保などでの活用が考えられます。



■Web 注文サービス



【スマートフォン画面】 【パソコン画面】

これまで、建設機械をレンタルする際には、電話での注文が大多数を占めており「機械が多様化して商品探しが大変」、「夜勤・休日の注文ができない」、「話し中のためのかけ直しが必要」、「複数の発注担当者が重複して注文してしまう」など、多くの課題がありました。「Web 注文サービス」は、このような課題を解消する、Web による、まったく新しい注文サービスです。24時間・いつでも・どこでも、時間を気にせず、スマホ

■ホコリ飛散間仕切りシート(マジックシャッター)

「マジックシャッター」は、明治商工株式会社(本社:東京都大田区)と共同で、リニューアル工事や内装解体工事の間仕切り養生を、より簡単に組み立て、解体することを目的に開発しました。工具が不要で、2名で簡単に組み立て・解体することができるため、短時間で大空間の間仕切りが可能です(18mを約30分で施工/弊社調べ)。マジックシャッターの上下には予めレールが装着されており、水平器の付いたつっぱり棒をレールに設置するだけで床と天井との隙間をしっかりと塞ぎ、気密性の高い間仕切りができます。さらに、シートは防音、防災、採光性能を有しております。また、マジックシャッター900(幅900mm)は、ファスナー付きのため作業員が容易に出入りすることが可能です。



■クローラー型台車(アクロス AKT-600)



「アクロス AKT-600」は、建設現場や土木現場など、様々な路面環境で荷物の搬送を可能にするクローラー型の台車です。配筋、デッキプレートの上、敷鉄板の段差などはもちろん、アスファルト・コンクリート・砂利・土・泥・石畳・砂・草・雪など、今までキャスター式の台車では難しかった運搬シーンでスムーズに荷物を運ぶことが可能になります。

■開催概要

展示会名: 第4回 建設・測量 生産性向上展(CSPI-EXPO) ~次世代を担う、最先端技術が一堂に~

会 期: 2022年5月25日(水)~5月27日(金) (10時~17時/最終日のみ16時)

会 場: 幕張メッセ

主 催: 建設・測量生産性向上展実行委員会

後援(予定): デジタル庁、経済産業省、国土交通省、環境省

協 力: (公社)土木学会、(一社)全国土木施工管理技士会連合会、(一社)日本建設業連合会、
(一社)全国建設業協会、(一社)全国中小建設業協会、(一社)国際建設技術協会、
(一財)建設業振興基金、(一社)日本建設機械工業会、(一社)日本建設機械施工協会
(公財)日本測量調査技術協会、(公社)日本測量協会、(一社)日本測量機器工業会
(一社)全国測量設計業協会連合会、(一社)建設コンサルタンツ協会、(一社)日本橋梁建設協会
(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会、(一社)ドローン測量教育研究機構、
(一社)日本 UAS 産業振興協議会

協力展示会: ハイウェイテクノフェア(公財)高速道路調査会

■アクティオが展開する“レンサルティング”



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』（算数とハートの経営 2014年 幻冬舎）。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じて

どの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。